

令和6年度 事業計画書

設置主体 社会福祉法人こころの種福祉会

施設名 つくばトッポンチーノ保育園

つくばモンテッソーリアフタースクール

〈令和6年度事業計画策定にあたり〉

〈 基本方針 〉

今年度は当法人の立ち上げ、当園の創設から10周年の節目を迎えることとなりました。

このような晴れがましい節目にあたり、さらなる社会貢献を胸に歩み出しています。

さて、世界を震撼とさせ続けた新型コロナ感染もまさにアフターコロナと呼ばれることになりました。

この1年で新型コロナは5類へと移行されましたが、保育園運営には戸惑いと共に新たな試練もやってきました。感染者が後を絶たない日々の中、コロナのみならず、インフルエンザはじめ各種感染症が同時期に多発するなど、今までにない子ども達の健康状態を常に案じる日々となってしまいました。各種感染症は誰もが通る道でありながらも「順調に回復する児と回復までに時間を必要とする児」など保育園の集団生活の中での困難さが次々と襲っています。感染症のみならず、防災などの安全対策、保育の質の向上などすべての保育の場面において新たな時代を迎えようとする時代となっています。常に時代の先を見据えて健闘し続けてきた当法人、当園にとっては待ち望んでいた時代ともいえます。日々の挑戦は日ごろの学びと共に、とりわけ子どもの「発達」を科学的に捉える目を養いながら、職員一同で理念に添って歩むことの重要性を痛感するところです。今年度の事業が職員一人一人の思いが反映し、子ども、そして見守る家族の幸せにつながることを祈念し、計画を練り、実行したいと思います。

令和6年4月

社会福祉法人 こころの種福社会

つくばトッポンチーノ保育園

理事長・園長 三上恵子

< 社会福祉法人 こころの種福社会の理念・目的 >

社会福祉法人 こころの種福社会は人の心に寄り添い、献身することをモットーとし絆を育む触れ合いの福祉活動を心がけ、誰の心にも一輪の花が咲き誇るような種まき活動が続けることを理念とする。日々の福祉事業に関していかなる困難に直面した場合も福祉に関する高い専門性を以てその解決にあたり、地域の人々の立場に立った一層質の高い福祉サービスの提供を継続することを目的とする。

1 保育園の運営

(1) 所在地 茨城県つくば市金田字中ノ条185番1

(2) 定員 60名(申込方法 つくば市子ども課)

児童年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
児童数定員	10名	10名	10名	10名	10名	10名	60名

(3) 職員定数 児童福祉施設最低基準に基づく

(職員の構成)

園長	1名	副園長	1名
主任保育士	1名	保育士	13名
副主任	2名	看護師	1名

モンテッソーリ教師 4名(含む園長・保育士3名)

管理栄養士 1名 調理師 1名

調理員 1名

保育補助 1名

嘱託医(内科) 1名 嘱託歯科医(歯科) 1名

子育て支援員 3名 放課後児童支援員 2名

小学校教諭 2名(保育園・児童クラブ担当)

(4) 開園時間(利用時間)

開園 7時15分～19時15分まで(延長保育実施時間を含みます)

土曜保育の必要な方は、別紙、勤務証明の提出をお願いいたします。

休園日 日曜日および祝日

年末年始 12月29日～1月3日

その他 園長が休園と認めた日

(5) 申し込み方法

ご希望の場合はつくば市こども部幼児保育課にお問い合わせください。
施設見学のご希望は当園に直接お問い合わせください。

(6) 給食について

(医療機関に診断の上アレルギー対応に最善を尽くします。ご相談ください)
季節感を大切にし、安全確認の上、地域の食材を尊重します。
また給食によって子どもの発達を順調に支えることを目的とします。
世界の文化を知る上で「食育」として各国の料理を楽しむ日も設け、子の学びの中で異年齢の交流が深まり、コミュニケーションが育まれることを目指します。また「食育」の一環として子ども達に「家庭の味」を味わい家族とのつながりを感じる教育機会として「お弁当」の日もあります。離乳食に関しては保護者との話し合いをもとに

発達に応じて進めていきます

おやつあり（医療機関に診断の上アレルギー対応に最善を尽くします。）

3歳未満児は午前、午後各1回、3歳児以上は午後1回となります。

（7）児童の健康管理について

厚労省および自治体との連携のもと、各種感染症への拡大防止に努めます。さらに今年度保健計画に基づき、保護者からの情報をもとに日々の健康観察に留意し保育に活かします。また定期的な健康診断（内科・歯科）の実行により医師の意見をもとに保護者に「健康」についての啓発をします。子どもの発達にとってかけがえのない健康維持であることへの認識を深め健やかな集団生活を送る支えとなることに尽力します。

（8）児童への危機管理について

災害・事故発生・不審者の侵入へは日ごろから職員で連携をとり、警察・消防・警備保障会社への連絡を真っ先にし、同時に児童を安全な場所に避難し、安全を確保する。そのためにも日ごろから避難経路を多数確保し理解しておくことが大切である。至近にある消防署との連絡も日ごろから密にとり連携を深めておく努力を継続する。毎月避難・防犯訓練をし、児童の引きとりに関して保護者との連携を深めておく。

保育所保育指針において、「保育中の事故防止のために、子どもの心身の状態等を踏まえつつ、施設内外の安全点検に努め、安全対策のために全職員の共通理解や体制づくりを図るととともに、家庭や地域の関係機関の協力の下に安全指導を行うこと」となっている。また、同指針解説においては、「事故発生防止に向けた環境づくりには、職員間のコミュニケーション、情報の共有、事故予防のための実践的な研修の実施等が不可欠である」こと、「保育中、常に全員の子どもの動きを把握し、職員間の連携を密にして子どもたちの観察の空白時間が生じないようにする。子どもの安全の観察に当たっては、午睡の時間を含め、一人一人の子どもの確実に観察することが重要である」ことについて、示されていることを今まで同様の注視徹底により順守しなければならない。

（9）児童の虐待の早期発見について

近年の児童の置かれる環境の多様化や育児不安による「虐待」をいち早く見抜き防止するためにも、保育士は児童への観察を怠らず、日々の小さな変化を見逃さないようにしなければならない。また発見した時の園長への連絡をすみやかにし、保護者への対応を判断する。場合に応じてつくば市家庭相談員、児童相談所など専門家の判断も必要とする。まずは児童の安全確保が重要課題であり、発見した場合の児童の心のケアを慎重にし、共感して支えなければならない。また保育の現場においても全国保育士会「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を用いた保育の振り返りを活用し、虐待防止の視点を常に意識し、保育の質の向上を目指さなければならない。

(10) 保護者からの要望、苦情さらに近隣からの意見への対応について

当園には苦情解決第三者委員を配置しており、問題を抱えた当事者と第三者委員や園長ならびに関係者と真摯に話し合いをし、慎重に事実を把握し、解決に導く所存である。さらに必要がある時には理事である医師・弁護士ほか地域の専門家のアドバイスを傾聴し、児童ならびに保護者との信頼関係がゆるがないよう最善の誠意ある対処をしなければならない。

2 保育目標

<基本理念>

「児童福祉法」「児童憲章」「児童権利宣言」等に謳われた児童福祉の理念を基に関連法規、保育所保育指針に則り「つくばトッポンチーノ保育園」の事業を以て保護者より委託を受けた児童の養護と教育を一体的に行い、入所する乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することにある。さらに保育を通じた地域貢献を以て児童が力強く未来へと歩む一助となる運営に励むことを目差す。

当園に従事するすべての職員は法令の遵守、高い倫理性、社会性を育成し常に専門性を研鑽し豊かな愛情を以て職務にあたることができるようお互いに協力し、啓発し合い成長するよう努める。

(1) 保育の基本方針

①家庭や地域との連携を大切にして「家庭教育」の補完をする。

乳幼児の保育に関する相談に応じ、社会的役割を果たす。

②児童は自分の意思で自由に興味ある活動を選び、一心不乱に取り組みながら自分の意思通りに動く身体を育んで行く。

③異年齢縦割りで学びあう経験を多くし、人間関係の基本である思いやりを

身につけ責任感を育んで行く。コミュニケーションを楽しむことで問題解決能力を高め、児童は幸福感に満たされるうちに「自分で考えて判断し行動できる」高い人間的資質を獲得して行く。

④児童の好奇心を尊重し、興味をひきつけながら自主性を育んで行く。

職員は連携しモンテッソーリ教育の環境づくりを励行する。子どもの自立を促す自由で知的な環境を整え児童が自発的に活動を行えるよう援助する。

⑤「食べること」は「生きること」。命を育み、より良く生きるための姿勢を「食育」を通して身につけて行く。畑での野菜の栽培など実践的なラーニングを通して「食」の重要性について学ぶ。

(2) 保育の目標

①児童の心の本質に寄り添い、共感しながら知的で円満な人格形成の支えとなる保育にあたる。

②一人一人の発達に応じて自立を促すような保育にあたる。

③児童は異年齢縦割りでのさまざまな生活体験を通して豊かな社会性を身につけられるような保育にあたる。

④在園の保護者や地域と連携し児童の成長を見守る温かな社会の絆づくりに貢献する。

<めざす児童の姿>

○いのちの尊さのわかる児童

○自分以外の存在を認め家族や友だち、身の周りの人々を大切にする児童

○物事の善悪の判断基準を自分の心にしっかりと持てる児童

○正しい言葉づかいを獲得し豊かな表現力を身に付けた児童

○「感謝やお詫びの言葉」など自分の気持ちを素直に表現できる児童

- ・ 保幼小接続連携の活動において「幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿」が文科省から提示されているのでそこを踏まえ保育現場で目指すとともに家庭との連携のもと家庭教育を推進する。

3 令和5年度保育年間計画（行事予定）

4月	入園式・進級式 内科健診 季節の文化教育（モンテしゃべり場：モンテッソーリってなんでしょう） 消火・防災・避難訓練 お誕生会 子育て相談（随時 リモートの場合は要予約）
5月	就学児発達相談会（在園児希望者） Montessoriseed 保育室開放 モンテしゃべり場：子育てあるあるをモンテで解決 ネーチャーゲーム&モンテッソーリ教育 季節の文化教育 季節の食育(畑の作物の植え付け) 消火・防災・避難訓練 お誕生会（お誕生日該当日にその都度祝う会）

	<p>特別支援巡回相談（つくば市こども未来課臨床心理士による）</p> <p>子育て相談（随時 リモートの場合は要予約）</p>
6 月	<p>歯科衛生週間 お口と健康のための指導 歯科検診</p> <p>Montessori seed ワークショップ（防災ゲーム）</p> <p>モンテしゃべり場：子育てあるあるをモンテで解決</p> <p>季節の文化教育</p> <p>季節の食育</p> <p>消火・防災・避難訓練</p> <p>お誕生会</p> <p>子育て相談（随時 リモートの場合は要予約）</p>
7 月	<p>季節の文化教育（七夕会分散型保護者参観）</p> <p>モンテしゃべり場：子育てあるあるをモンテで解決</p> <p>季節の食育（畑の作物の観察と収穫）</p> <p>畑の収穫を数えてみよう（含む畑口ト）</p> <p>消火・防災・避難訓練</p> <p>お誕生会</p> <p>子育て相談（随時 リモートの場合は要予約）</p> <p>保幼小接続連携計画訪問及び保育参観</p>

<p>8 月</p>	<p>七夕会&夏祭り（アフタースクールとの連携）</p> <p>季節の食育（畑の作物の収穫）</p> <p>畑の収穫を数えてみよう（含む畑口ト）</p> <p>消火・防災・避難訓練</p> <p>お誕生会</p>
<p>9 月</p>	<p>Montessori seed 敬老手仕事会ワークショップ （祖父母及び地域のご老人会の参観）</p> <p>季節の文化教育（Zoom 配信）</p> <p>季節の食育</p> <p>消火・防災・避難訓練</p> <p>お誕生会</p> <p>子育て相談（リモートの場合は要予約）</p>
<p>10 月</p>	<p>トッポンハロウィン（保護者参加分散型）</p> <p>季節の文化教育（音楽・美術・ダンス・伝承遊びなど）</p> <p>季節の食育</p> <p>消火・防災・避難訓練</p> <p>お誕生会</p> <p>子育て相談（リモートの場合は要予約）</p>

<p>11月</p>	<p>ファミリー運動会</p> <p>勤労感謝週間</p> <p>季節の文化教育（音楽・美術・ダンス・伝承遊びなど）</p> <p>食育フェスティバル（ハーベスト）</p> <p>季節の食育</p> <p>消火・防災・避難訓練</p> <p>お誕生会</p> <p>子育て相談（リモートの場合は要予約）</p>
<p>12月</p>	<p>クリスマスコンサート親睦地域交流会</p> <p>ハンドベル音楽会</p> <p>季節の文化教育（音楽・美術・ダンス・昔の遊びなど） Zoom 配信</p> <p>季節の食育（調理）</p> <p>避難訓練</p> <p>お誕生会</p> <p>年末年始休園（12月29日～1月3日）</p> <p>子育て相談（リモートの場合は要予約）</p>
<p>1月</p>	<p>季節の文化教育</p> <p>年中・年長児マラソン</p> <p>年長さんのワンディトリップ（トッポンバス利用）</p> <p>防災・避難訓練</p> <p>お誕生会</p> <p>子育て相談（リモートの場合は要予約）</p>

2月	Montessori seed 節分ワークショップ 年長・年中児マラソン（走った分だけ数えよう：記録づくり） 防災・避難訓練 お誕生会 子育て相談（リモートの場合は要予約）
3月	Montessori seed ひなの茶会ワークショップ（在園児のみ） 防災・避難訓練 お誕生会 子どもたちの成長を祝う会芸術発表（劇、音楽、朗読など） 成長を祝う会（分散型予定） 巣立ちの会（卒園式）（ 子育て相談（リモートの場合は要予約）

各種行事は文化の担い手となる児童にとって、日常生活を活かして発達を支えるかけがえのない体験です。子どもの笑顔が花開くよう見守ります。

4 保護者にむけて

<保育への理解と協力への促進>

○日々の連絡帳によるこどもの活動や状態の報告交流

○日々の園長からの配信メッセージ（子育てのツボ、モンテッソーリ教育についてなど）

○日々の活動の写真を連日継続的にアップし、在園家庭のみダウンロード可能となり無償提供している

- 保育参観・参加（保護者参観のほかにも園児の日常生活をご覧いただく
任意の機会や親子遊びの機会を多くとり、子どもの発達への理解を促す）
現在は感染防止対策の励行により Zoom リモートなどの ICT 導入交流も
継続する
- 個人面談（毎月、子育ての相談がある方には緊急以外は予約を取り
園長他必要に応じて担当者との面談ができる）Zoom リモートあり
- 発達相談に関しては日常の観察を十分に伝え、必要に応じて専門家の紹介などをする（特別支援学校地域巡回支援、こども未来課臨床心理士による巡回相談、教育委員会の就学児相談などを活用する）
- 園だより（やすらぎ通信含む保健、給食などからのお便り・献立表の毎月発行

5 地域社会との連携（新型コロナ感染状況を見極めた実践となる）

＜子ども達の発信する「文化」を地域に伝え、連携を仰ぎながら、子ども達を見守るまなざしが豊かになるよう努める＞

- 地域のご家族への当園イベントへのご招待（感染防止対策優先）
- 地域への訪問を通して、ご意見を聴取する（感染防止対策優先）
- 地域と共に学ぶ機会を設ける（畑・食育など）（感染防止対策優先）
- つくば市の在住多国籍のご家族との国際交流を楽しむ機会を設ける

6 特別保育事業への取り組み

① 延長保育事業

② 一時預かり保育（登録制） 各種感染症現況把握を優先とする

③ 病児保育（体調不良児型）

④ 子育て相談事業（随時）

その他子育て支援事業

その他運営の中で必要と思われた事業に関しては積極的に

導入し、質の高いサービスを心がけること。

<つくばトッポンチーノ保育園 子どもの発達指針>

①0歳児：家庭との連携を強化し、安定した環境の中で気持ちよく過ごす

ことができるように生活リズムを整える。喃語・言葉の発生を応答的環境
で受容する

②1歳児：保育士とのやり取りを通して自発性の芽を大切にし、自分の意思

通りに動く身体づくりの基本を楽しめるようにする 個々の子どもの発達を
重視し援助する。発達に無理のない環境の中で自発性の芽をつむことなく子ど
もが興味を持った教具・教材（おもちゃなど）・自然物に自ら関わられるような
援助をする。

③2歳児：日々向上し獲得する言語能力を活かして自分の気持ちをなんとか伝

えたり、コントロールする体験を繰り返す。それによって他者との関わりへの

楽しみ、興味をひきあげる。見立て遊びなどを通して身の周りの事物への関心を高めるよう援助する。日常生活の中で自立を促し、自発力を尊重する。

④3 歳児：自分の身の回りの事物の名称を正しく吸収し、視野を広げる。

獲得した言葉を活かして、友達との関わりを活発にする。さらに五感を通して感じたことを言葉だけではなく、歌や絵画、他者とのやり取りを通して自由に表現する楽しさを感じられるよう援助する。自己への信頼を深めるかけがえない時期である。

⑤4 歳児：他者の話に耳を傾け、注意深く聞いて正しく理解する体験をする。

友だちに共感しつつ他者への配慮を学びながら自分自身を表現し、お互いの認め合いの中で交流を深められるよう援助する。

友達との運動や遊びを通してルールへの理解を深め新たな工夫ができるよう援助する

⑥5 歳児：異年齢の子どもとの関わりを多くし、自分の身につけたことをで

きるだけ伝え、人間関係の基礎を獲得する。また学んだことを生活の中で関連付けながら質を高める体験を多くする。文化的な興味を大切に「自発的学習態度」の基礎を獲得する。

就学に向けての生活面での自立、学習面での準備を整え幼児期のゴールを満足感に満ちて迎えられるように援助する

つくばモンテッソーリアフタースクール事業計画

社会福祉法人こころの種福祉会

つくばモンテッソーリアフタースクール

代表 三上恵子

令和元年からスタートした放課後児童健全育成事業として6年目の当児童クラブの運営である。コロナも5類へと移行になり、インフルエンザ同様の対策となった。学校教育の感染状況他、さまざまな様相と直結していながらも児童クラブ関係には情報を共有していただけなかった。しかしここ数年、コロナ禍を契機とし教育委員会とこども育成課との連携もすみやかになり、これによって自治体の理解も促進し、学校関係の情報を共有できるようになった。こどもを取り巻く環境の接続連携によってさらなる現場の質の向上が図られることを切望し、実践に役立てたいところである。コロナ禍の体験を通して児童自身は現時点では感染防止対策はすっかり身に付いている。必要に応じて集合するときには「マスク」をすること、うがい手洗い、手指の消毒などが日常のマナーとなっている。こうした習慣を活かしながら今年度も歩みを進めたい。今年度もさまざまな事態に際し、児童の心の安定を図るための支えとなる場として当児童クラブの運営のさらなる向上を図りたい。新たな時代への歩み出しは科学的根拠のもと、職員の向上を図り、数々の研修を経て学びを活かしつつ、こどもの人格形成の一助となるべく児童クラブとしての使命を果たしたい。学童期は日常的に心身ともに目覚ましい発達を遂げる時期である。このことを踏まえ、翌日の生活の糧となるような児童クラブのぬくもりあふれる過ごし方を考えたい。一日を振り返り、和やかな交流をもたらす場としての機能が大切で

ある。さらに学校の長期休暇など時間的にゆとりのある日は、モンテッソーリ教育を導入したゲームや身の回りの自然への興味を深めるような遊びやイベントを提供し、向上心を見失わないよう、知的環境の中で能動的な日々が過ごせるような日々でありたい。学童にとって心身ともにやすらぎ、明日への活力となる場の提供に尽力することを約束し、今年度事業計画の策定とする。

令和6年4月